



塚本 裕三 議員  
公明党

公共施設の老朽化対策は

**問** 全国で、橋や上下水道などの社会基盤の多くが、高度経済成長期に一気に整備が進められたため、今後耐用年数を超えるものが急増する見通しで、その対応が求められている。本市の公共施設の現状と今後の整備は。

**答** 22年度末の現状は、施設数が約1100施設、棟数で約4700棟。床面積は小中学校など義務教育施設が約45%を占め、建設の時期は1970年代に建てられたものが約40%を占める。今年度長寿命化や規模の適正化などの視点から、公共施設の再整備に係る基本方針を策定することとしており、基本方針に基づき、事業費の年度間の平準化を図るとともに、可能な限り財源を確保する中で、計画的な施設の維持整備に対応していく。



藤原 平 議員  
誠友会

ホテルプリンス火災について

**問** ①「安心で安全なまちづくり」を掲げる本市にとって、大きな社会的責任と課題を背負わされたと考えるが、認識は。②防災査察等での課題は。③違反建築物への今後の対応と対策は。

**答** ①今回の火災では、この建築物に対する行政の指導や対応が不十分であったことについて、大変遺憾に思っており、事態を重く受け止めている。  
②これまでの査察等において、組織的な対応が十分にされず、また、建築基準法や消防法などのそれぞれの視点での点検に終始し、相互の連携が不十分であったことなどが課題と考えている。  
③現在、国においても検討がされており、それを踏まえて、福山市建築物査察等適正化対策委員会で検討していきたい。



岡崎 正淳 議員  
誠友会

「再(Re)」の取り組みと方向性

**問** ①これまでの取り組みの成果は。取り組みの4つの方向性のうち、②持続可能な行政体質構築のための人材育成と、③住民自治の確立に向けた新たな仕組みの構築はどのように進めるのか。

**答** ①「再(Re)」の全体像と方向性、主要な取り組みについて取りまとめ、全職員で理念を共有するなど一定の成果を得た。  
②新たな発想や創造性を持って、市政の発展のため行動できる職員が必要と考え、こうした意欲と能力のある職員の採用に努め、総合的、計画的な人材育成に取り組む。  
③「自らのまちは自らつくる」という住民自治の理念に加え、協働を深める新たな仕組みの具体的イメージを共有することで、市民の皆さまの自主的・主体的・継続的な活動につながるものと考えている。



徳山 威雄 議員  
誠友会

福山ロッツ閉店後の利活用は

**問** ロッツが来年4月閉店しその後の建物の利活用について商業関係者を中心に一括賃貸の打診をしていると聞くと、市として、現在不足している施設、必要としている施設など、人が集まる仕組みを施設として整備することで、周辺の商店街などにもよい影響が及ぶと思うが、考えは。

**答** 今後についても、中心市街地にぎわい創出の拠点となるよう、商業施設としての利活用を基本に取り組んでおり、ロッツ来館者聞き取り調査やテナント意向調査を実施した。大規模小売店舗等の運営が可能な関係企業に対し、調査結果を情報提供するとともに全館一括の賃貸借、または一部賃貸借の可能性について打診している。提言いただいた内容については、今後の推移を見守る。